

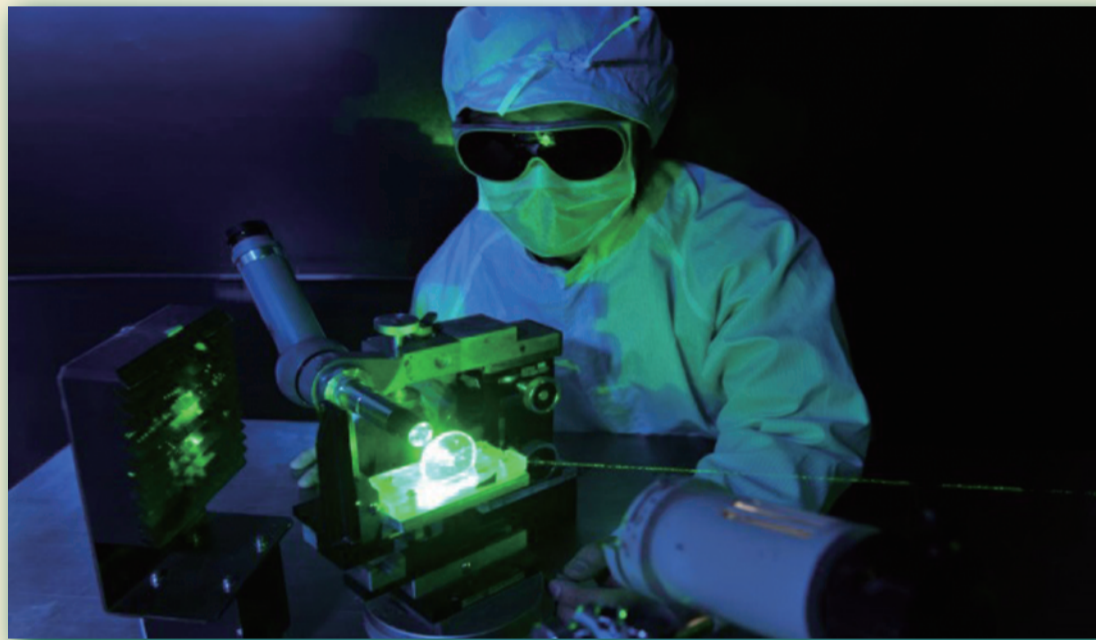
レーザー学会産業賞「貢献賞」受賞



光学素子のレーザー損傷しきい値 データベース



公益財団法人
レーザー技術総合研究所



高出力レーザー光を利用する上で、光学素子の使用限界エネルギーは重要な情報です。レーザー総研では、光学素子のレーザー損傷耐性試験を行うとともに、レーザー損傷しきい値のデータベースを提供しています。

公開中のデータベース

<http://www.ilt.or.jp/testing/kenkyukai.html>

- 石英ガラス上の反射防止膜
(248nm, 355nm, 532nm, 1064nm)
- 45° 高反射ミラー
(248nm, 355nm, 532nm, 1064nm)
- プレート型偏光子 (1064nm)
- ダイクロイックミラー (1064nm/532nm)

データベースの用途

- 光学素子のレーザー損傷耐性の現状が判る。
- 光学素子開発に際して目標値の設定に利用できる。
- レーザー装置を設計、使用する上で、
ビーム径の決定に役立てられる。

